

捕獲ミドリガメ保管用プール

堆肥化視野に市新設

ミドリガメの愛称で知られ、ため池や河川での大量繁殖が問題になっている外来種ミシシippアカミミガメを堆肥化して有効活用することなどを視野に、

明石市はカメ保管用プールを明石グリーンセンター(大久保町松陰)に新設することを決め、26日に発表した。

市は2013年以降、谷八木川、瀬戸川、



今年6月の調査で見つかったミシシippアカミミガメ。大久保町の赤根川流域(市提供)

赤根川とそれぞれの流域にあるため池などで約6千匹のアカミミガメを捕獲した。現在は神戸市立須磨海浜水族園の保護研究施設に收容しているが、有効活用を目指し、独自の施設を設置することにした。

プールは幅9m、長さ5m、深さ40〜60cmで、約千匹を収容でき、9月中に完成させる計画。一時保管後は専用の冷凍庫で安楽死処分し、同水族園や、同様の研究を始めた篠山市などと情報交換しながら、

粉砕して堆肥化する方法などを研究する。

市は、外来種を投棄しないことなどを住民に訴えるDVDも10月下旬に完成させ、市内の小学校などに配布するほか、市のホームページで公開する。

市環境総務課 ☎078・918・5029

(井原尚基)